

衆院選では市民と野党の共同を広げ、人間の尊厳を守る政治の実現を 「市民連合@新潟」が県内4野党代表招きシンポジウム開催

個人の尊厳を守る政治の実現をめざして…「市民連合@」にいがた」主催のシンポジウムが11日、新潟市において行われました。

シンポジウムでは、様々な分野で頑張っている7人の市民から「私の願い」を出してもらい、「生活者にとって身近で大事なことを探る」とともに、県内4野党の代表から総選挙でどう勝利していくかが語られました。

市民の「私の願い」は医療介護、農業、子育て、高齢者問題などを切実に訴えるものでした。発言は、「医療福祉分野のマンパワー不足は限界にきている。施設を造ったものの開業を延期したところもある」（渡辺大樹さん）、「きょうは5年と10ヶ月目の月命

日。きょうも津波被災現場で捜索が行われている。希望の持てるエネルギーギー政策示してほしい」（大賀あや子さん）、「農業は多様な担い手によって持続性のあるものにしなくてはならない。強い農業は根強くはない。小さい農業があるから、それよりもちよつと大きい農業も輝く」（伊藤亮司さん）、「野党の皆さんからは個人の尊厳から政策を考える立場で真剣な議論をお願いしたい」（金子修さん）、「いま高齢者を襲っているのは貧困化だ。すべての高齢者が安心して暮らせるよう力を合わせてほしい」（稲葉正美さん）など共感と感動を呼ぶものばかりでした。

こうした発言を受けて各党代表は、「発言はリアルで切実だと思った。戦後最悪の安倍内閣を変えることができるかどうかは、市民と野党が力を合わせることでポイントだ」（日本共産党・樋渡県委員長）、「みなさんと思いは一緒だ。安倍政権の支持率が高いのは野党が弱いから。信頼して任せられる政権をつくるのが大事だ」（大淵健・民進党県連幹事長）などと発言、新潟から市民と野党の共同を全国に広げ、総選挙で勝利したいという決意が語られました。



大きなクリスマス・リースと正月飾り。大島デイサービスセンターにて昨年末に撮影。



【タネツケバナ】吉川区代石で行われた8日のサイの神の際、田んぼで見つけました。アブラナ科の越年草で、花の色は白です。漢字で書く場合は「種付」ではなく、「種漬」ですので、くれぐれもご注意を。



上の写真は市民の発言、下は各党の発言の様子です。

斎場問題中心に市政報告会

日本共産党議員団では下記日程により市政報告会を開催します。新斎場建設に伴い、頸北斎場をどうするかが大きな問題になっていますが、これまでの議会での取組をご報告するとともにみなさんの声をしっかりお聴きしたいと思っています。入場は無料です。

日時：1月26日（木）18時30分から
会場：柿崎地区公民館（総合事務所隣）

談合裁判結審、21日に報告会

上越市ガス水道局所管本支管工事をめぐる入札で入札参加業者が談合を行い、上越市に損害を与えたとして市民有志が訴えた裁判は9回にわたる口頭弁論を終え、12月に結審しました。判決は3月6日に出る予定ですが、原告団（団長は私、橋爪法一）では、判決を前に報告会を開催することになりました。これもぜひご参加ください。これも入場は無料です。

日時：1月21日（土）13時から
会場：市民プラザ第2会議室

はしづめ法一の
活動レポート

No.1790 2017.1.15

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

衆院選では市民と野党の共同を広げ、人間の尊厳を守る政治の実現を 「市民連合@新潟」が県内4野党代表招きシンポジウム開催

個人の尊厳を守る政治の実現をめざして：「市民連合@新潟」主催のシンポジウムが11日、新潟市において行われました。

シンポジウムでは、様々な分野で頑張っている7人の市民から「私の願い」を出してもらい、「生活者にとって身近で大事なことを探る」とともに、県内4野党の代表から総選挙でどう勝利していくかが語られました。

市民の「私の願い」は医療介護、農業、子育て、高齢者問題などを切実に訴えるものでした。発言は、「医療福祉分野のマンパワー不足は限界にきている。施設を造ったものの開業を延期したところもある」（渡辺大樹さん）、「きょうは5年と10ヶ月目の月命

日。きょうも津波被災現場で捜索が行われている。希望の持てるエネルギーギー政策示してほしい」（大賀あや子さん）、「農業は多様な担い手によって持続性のあるものにしなくてはならない。強い農業は根強くはない。小さい農業があるから、それよりもちよつと大きい農業も輝く」（伊藤亮司さん）、「野党の皆さんからは個人の尊厳から政策を考える立場で真剣な議論をお願いしたい」（金子修さん）、「いま高齢者を襲っているのは貧困化だ。すべての高齢者が安心して暮らせるよう力を合わせてほしい」（稲葉正美さん）など共感と感動を呼ぶものばかりでした。

こうした発言を受けて各党代表は、「発言はリアルで切実だと思った。戦後最悪の安倍内閣を変えることができるとどううかは、市民と野党が力を合わせることでポイントだ」（日本共産党・樋渡県委員長）、「みなさんと思いは一緒だ。安倍政権の支持率が高いのは野党が弱いから。信頼して任せられる政権をつくるのが大事だ」（大淵健・民進党県連幹事長）など発言、新潟から市民と野党の共同を全国に広げ、総選挙で勝利したいという決意が語られました。



8日からの3連休では市内各地でサイの神行事が行われました。写真は吉川区代石。



【タネツケバナ】吉川区代石で行われた8日のサイの神の際、田んぼで見つけました。アブラナ科の越年草で、花の色は白です。漢字で書く場合は「種付」ではなく、「種漬」ですので、くれぐれもご注意を。



上の写真は市民の発言、下は各党の発言の様子です。

斎場問題中心に市政報告会

日本共産党議員団では下記日程により市政報告会を開催します。新斎場建設に伴い、頸北斎場をどうするかが大きな問題になっていますが、これまでの議会での取組をご報告するとともにみなさんの声をしっかりお聴きしたいと思っています。入場は無料です。

日時：1月26日（木）18時30分から
会場：柿崎地区公民館（総合事務所隣）

談合裁判結審、21日に報告会

上越市ガス水道局所管本支管工事をめぐる入札で入札参加業者が談合を行い、上越市に損害を与えたとして市民有志が訴えた裁判は9回にわたる口頭弁論を終え、12月に結審しました。判決は3月6日に出る予定ですが、原告団（団長は私、橋爪法一）では、判決を前に報告会を開催することになりました。これもぜひご参加ください。これも入場は無料です。

日時：1月21日（土）13時から
会場：市民プラザ第2会議室

はしづめ法一の
活動レポート

No.1790 2017.1.15

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

年末にKさん宅を訪れた時、お茶をすすめられ、ご馳走になってきました。Kさんとはひと月に一回くらいはお茶を飲み、世間話をしているのですが、この日はちよつと切なくなりまして。

というのも、この日は、昨年の一〇月に六〇代の若さで亡くなった息子さんをめぐる思わぬ出来事が話題になったからです。

Kさんの家族にとって息子さんは、家計を支えていただけでなく、心の支えでもあり、すべてにおいて大黒柱でした。息子さん病院に入院していても、今回も回復して家に戻ってきてくれるものとKさん夫婦は思っていました。それだけに、亡くなったことはいまでも信じることができないと言います。

Kさんのお連れ合いのSさんは、毎朝、仏壇の前に行き、亡くなった息子さんの遺影に「お父さん！」と声をかけているそうです。「でも、何回、声をかけても笑っているだけなんだよね」とSさんはさみしうに教えてくれました。

息子さんへの想いが募っているのはKさんも同じです。まもなく九三歳になるというKさんは、見たばかりだという息子さんの夢の話をしてくださいました。

Kさん宅の前庭の隅に寒椿の木がありますが、夢の中で、息子さんがこの椿の木の手入れをしていたというのです。寒椿はいつも雪が降る前に、息子さんが雪よけなどの手入れをしていたのでしようか。今冬は、そのままになっていないということでした。夢の中で、息子さんがどんな仕事をされていたのかまで聞きませんでした。息子さんに会えたことがとてもうれしかったようです。Kさんの言葉ははずんでいましたね。

この日のお茶飲み会ではKさん夫婦の他、大潟区に住む子どもさん、Yさんもおられました。このYさんの話にも引き込ま

れました。

壇払いの頃のことだったといえます。Kさんの家では不思議なことが起きたというのです。家の外には干しもの竿があるのですが、その竿(さお)の上を小さなヘビがはい、舌をちよろりと出しては家の中をのぞきこんでいたというのです。その様子を見ていた家の中の人たちは、「このヘビは普通のヘビとは違う。これはきつと亡くなったお父さんだ」と思ったそうです。

年末でしたから、四人のお茶飲み会では、ソバ打ちのことも話題になりました。元々はKさん夫婦が中心になっていたのですが、歳をとっていくうちに、亡くなった息子さんの出番が多くなりました。そしてソバ打ちと言え、この息子さん抜きには考えられない状態になっていました。

亡くなって最初の年越しを前にして、さて、どうしたものかと思っていたところへ応援にやってきたのはYさんでした。Kさん夫婦は、このYさんのおかげで今回も年越しそばを自分の家で作れたのです。

お茶飲み会では、大きなカリントなどをいただきながら、次から次へと出る話に引き付けられました。

三〇分ほど経ってからは、お礼を言ってお外に出た時、話に出てきた寒椿の姿を見たくなりました。椿の木は、一歩ほど立ち上がったところから横に伸びていて、とても素敵な形をしています。花はすべて赤、つぼみ段階のもの、すでに大きく花を開いているものなどたくさん付いていました。

私は、青い空をバックにこの寒椿の姿を何枚か写真に撮りました。すぐそばで幹や花を見て思ったのは、よく手入れされているということでした。そして、もうひとつ、この寒椿は花を咲かせることで周りを明るくしています。赤い花は、息子さんが

「おい、みんな、元氣出して頑張れや」と言っているようにも見えました。

「“隠れ共産党”宣言」が話題に

農業協同組合新聞（電子版）12月28日号に載った岡山大学大学院教授、小松泰信さんの「“隠れ共産党”宣言」と題するコラムが大きな話題になっています。

この中で小松さんは、「（綱領で）農業を高く評価し位置づける政党に、興味が湧かない人はいないだろう」「実は、数年前の国政選挙から同党（日本共産党）に投票している。……理由は極めて単純。農業保護の姿勢やTPP（環太平洋連携協定）への全面的な反対姿勢などが一致したからだ。……ではなぜカミングアウト（公表）したのか。それは、自民党が変質し、『農』の世界に軸足をおいた人や組織がまともに相手する政党では無いことが明白になったからだ。……純粋に農業政策を協議するに値する政党は日本共産党だけとなる」「村社会でも地殻変動の兆しあり。と言うのも、農業者やJA関係者と一献傾けるとき、我が投票行動を酒の肴（さかな）に

お出しすると、“実は…”の人が確実に増えているからだ。『危険思想として擦り込まれてきたが、何か悪いことをしたのですかね。少なくとも農業問題に関しては、真っ当なことを言っていますよ。……政権与党とその走狗（そうく）である規制改革推進会議に痛めつけられ、真っ当な農業政策を渴望している人が“隠れトランプ”ならぬ“隠れ共産党”となっている」と書いています。

かつては日本共産党と一線を画してきた小松さんが日本共産党綱領に注目して、「純粋に農業政策を協議するに値する政党は日本共産党だけ」と書いてくださっているのはうれしかったですね。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月27日(火)	1月11日(水)
上越南消防署	0.050	0.053
上越北消防署	0.057	0.053
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.057	0.047
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.050	0.043
高士分遣所	0.060	0.037
名立分遣所	0.050	0.057

